

○平成30年度 地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業

「おくしり自然塾～キャンプ編～」(H30.8.4(土)～5(日))

おくしりチャレンジスクール 道民カレッジ連携事業 手帳を持参してね!

おくしり自然塾

～キャンプ編～

2018 **8/4(土)・5(日)**

日時 2018 8/4(土)・5(日)

会場 風地庵(奥尻町宇球浦) 工藤組さん所有の建物です。

対象 奥尻町内の小学校3年生から6年生

参加費 1500円(食費、材料費、保険料、入浴料等)

申込 下記の参加申込書を7月19日(木)までに各学校へ提出して下さい。

日程

8/4	開会式	10:00-10:30	11:30-12:30	14:30-16:30	17:00-21:00
8/5	虫取り	5:30-6:00	8:30-10:00	10:00-11:00	
	船床 飯食づくり				
	鏡片付け				
	ふりかえり				
	解散				

※ 雨天時は旧青苗中学校体育館でテント設置。
※ プログラムの詳細及び雨天時プログラムについては後日決定

◆主催 北海道「体験の風をおこそう」運動推進協議会
奥尻町教育委員会【お問い合わせ TEL2-3890】

◆協力 船工藤組 小林民宿 ひやま漁業協同組合奥尻支所
航空自衛隊奥尻島分屯基地 奥尻高等学校ボランティア部
奥尻町役場水産農林課

本事業開催中に撮影した写真等は町ホームページ、広報おくしり等で掲載することがあるので、あらかじめご了承ください。

◆目的

キャンプをしながら仲間や多くの方々とともに活動することとおして、子どもたちにとって大切な体験活動を推進するとともに、地域の自然について理解を深め、ふるさとを愛する心を育む。

◆参加実績(募集20名)

参加児童 11名
3年生 2名
4年生 5名
6年生 4名

高校生スタッフ及び引率教諭 4名
町職員 4名
活動ボランティア 5名
(漁協職員及び自衛隊員)



おくしりチャレンジスクール おくしり自然塾～キャンプ編～ 参加申込書

参加者氏名	所 属	学年	緊 急 連 絡 先
	奥小・青小		
	奥小・青小		
	奥小・青小		

◆プログラム

①テント設営(班別)・・・60分

雨天が続く予報のため、大きなブルーシートの下に、参加児童用のテントを、班ごとに立てた。小雨の中での作業ではあったが、互いに声をかけ合い、協力してテント設営を行い、完成した喜びを参加者で共有した。

②磯遊び・・・120分

海岸に移動し、漁業職員からの指導を受けて、岩場にいる生き物探しを行い、捕まえた魚や貝などを観察してあとは、海に帰した。身近な自然の豊かさを再認識していた。

③野外炊事・・・360分

自衛隊員からの指導で、飯盒を使った炊飯やカレー作りを行い、合間には薪割りや火おこしの体験も行った。時間はかかっても、自分たちでできることを懸命に取り組んで、できあがった食事を摂りながら、達成感を味わっていた。

④アロマキャンドル作り・・・30分

朝食ができる前の時間で、班ごとにアロマキャンドル作りを行った。自分で形や色、においなどを選んで、今回のキャンプの記念品として持ち帰った。

⑤レクリエーション（高校生ボランティア提供プログラム）・・・120分

前日の夕食後に予定していたプログラムであったが、夕食作りや片付けに時間がかかったので、2日目の朝食と片付けのあとに活動した。小学生を乐しませるために、3人の高校生がクイズなどの出し物を次々と披露し、発表をする側の高校生も、見る側の小学生も大いに楽しみ、親交を深めた。

◆成果

- ① 異年齢での共同生活、新しいことにチャレンジする楽しさや、仲間と話し合い、協力することの大切さ、素晴らしさなどを学ぶ体験活動を展開することができた。
- ② 地元の高校生がボランティアとして、事業に参加し、良い関わりをしていた。事業を通して、小学生への関わり方など、今後のボランティア活動に向けての意識を大いに高めた様子であった。
- ③ 地元町教委の若手職員に事業運営のポイントなどについて、実践的に学んできた。今後の事業企画や運営に生かしたいとの感想をいただいた。



◆参加者の声

- 一番楽しかったことは、テントの中で過ごしたことと高校生などとの交流です。キャンプで、楽しくしっかり学べたので良かったです。
- 磯遊びが特に楽しかった。なぜかという、カニや大物のゴタンペ（魚）を釣れたからです。
- テントで寝る時にグループみんなと話をする時も楽しかったし、カレーライスもおいしかったです。高校生の遊びも楽しかったです。

◆事業運営のツボ・工夫・反省

建設会社所有の敷地をキャンプ地として提供され、漁協や自衛隊の職員による活動支援、高校生ボランティアの参加など、地元住民が子どもたちのためにサポートをするキャンプなので、持続可能な地域の将来につながる事業となっている。特に、地元高校生が地域の子どものために活動することは、地域住民のつながりを深め、地域の将来にとっても有益なので、今後も広まってほしい取組である。



◆事業運営費	合計	73,923円	※北海道「体験の風をおこそう」運動推進協議会の負担分)
旅費・交通費		62,970円	
燃料費		10,953円	